


# 愛知県の「省エネ・節電アクションプラン」を推進します!




愛知県庁の「省エネ・節電アクションプラン」を推進します!

この夏の節電のポイントは、7月から9月の月曜日～水曜日、午後1時～4時の電力使用を抑えるピークカットにかかっています。愛知県庁では、これに重点をおいた「省エネ・節電アクションプラン」を推進します。全庁一丸となって電力使用のピークカットに全力を挙げてまいります。県民の皆様におかれましても、やみくもに我慢する節電は必要ありません。電力を賢く使う「スマート・ユース」には是非ご理解とご協力をお願いします。

愛知県知事 **大村秀幸**

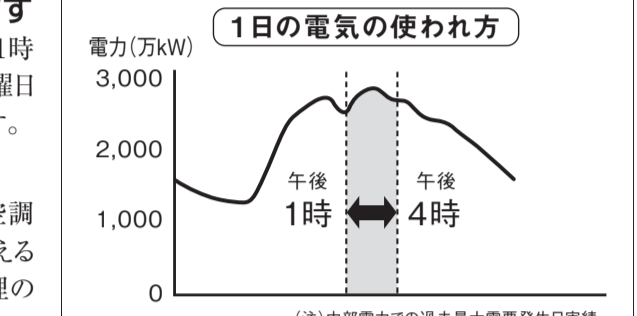
## 平日(月～水)午後1時から4時の節電のお願い “電力を賢く使う「スマート・ユース」を!”



中部電力浜岡原子力発電所の停止に伴い、厳しい電力需給が予想されています。その対策のポイントは、電力使用がピークとなる**真夏(7月～9月)の平日(月～水曜日)の昼間(午後1時～4時)の需要をいかにカットするか**です。行き過ぎた節電が、経済活動の萎縮や県民生活への支障につながるはいけません。ピークカットに重点をおいて、電力を賢く使う「スマート・ユース」で今夏を乗り切きましょう。

■月～水曜日午後1時～4時の節電をお願いします  
夏季(7月～9月)の平日は冷房需要が増え、1日の中では午後1時から4時頃に電力需要が最も大きくなります。今夏は、特に月曜日から水曜日の電力需給が、厳しい状況になると予想されています。

■できることから節電を  
家庭での電力消費のうち、大きな割合を占めるのはエアコン空調です。そのほか、照明や冷蔵庫など、これらの使い方を少し変えるだけでも、節電効果があります。熱中症などに気をつけて、無理のない範囲で節電をお願いします。



1日の電気の使われ方  
電力(kWh)  
3,000  
2,000  
1,000  
0  
午後1時 ← 午後4時  
(注)中部電力での過去最大需要発生日実績

### ■身近にできる「スマート・ユース」

●**エアコン・空調**

- 冷房温度は28度を目安に
- 月に1～2回、フィルターの清掃を
- 扇風機の併用、すだれやよしずの活用も

●**冷蔵庫**

- 設定は「強」から「中」へ
- 扉を開ける回数は少なく
- 食品を詰め込みすぎないように
- 熱いものは冷ましてから

●**照明**

- こまめに消灯を
- 長時間使うところは、蛍光灯ランプやLEDランプがおすすめです

■愛知県庁も率先して取り組みます (「愛知県庁の今夏の省エネ・節電アクションプラン」を推進しています)  
愛知県庁では、「7月～9月 月・火・水曜日 13時～16時」(取組集中期間)において、「愛知県庁の今夏の省エネ・節電アクションプラン」を推進しています。その取組の一環として、**愛知県庁では7月1日から9月30日までの間、多くの県機関において、昼の休憩時間を午後1時から2時までに変更し、休憩時間中は、原則として、冷房の停止・照明の消灯等を行っています。**

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

▷ホームページ=<http://www.pref.aichi.jp/000042384.html> ▷問合せ=企画課☎052(954)6089

## 東日本大震災 緊急支援 「私たち一人ひとりができることを - 愛知県民は被災地の復興を支援します -」

■「愛知県被災者支援センター」を開設しました  
東日本大震災により愛知県に避難されている皆様を支援するため、県が設置し、災害救援活動の経験が豊富なNPOが運営する「**愛知県被災者支援センター**」を開設しました。  
このセンターでは、支援物資の円滑な提供や地元被災自治体からの情報提供、交流会の開催などの様々な支援活動を展開しており、被災者の皆様と、支援をお考えの県民・企業等の皆様の架け橋となることを目指しています。ご利用、ご協力をよろしくお願い致します。

【愛知県被災者支援センター】  
▷場所=愛知県東大手庁舎1階 (名古屋市中区三の丸三丁目2-1 地下鉄「市役所駅」下車 徒歩3分)  
▷開設時間=平日(月～金曜日)の午前10時から午後5時まで  
▷ホームページ=<http://aichi-shien.net/>  
▷問合せ=愛知県被災者支援センター☎052(954)6722 FAX052(954)6993

■災害義援金を受け付けています  
県民の皆様からの温かいご支援によりまして、6月29日現在で、3億3,466万9,108円(3,535件)もの災害義援金をお預かりしております。この場をお借りして、深く感謝申し上げます。  
被災された方々の生活が一日も早く再建できますよう4月13日の第一次配分(1億円)に引き続き、6月13日に第二次配分として1億5千万円を宮城県、福島県を始めとする7県にお届けしました。災害義援金につきましては、引き続き受け付けておりますので、今後とも県民の皆様のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

▷受付期間=9月30日迄まで ▷ホームページ=<http://www.pref.aichi.jp/000018120.html>  
▷問合せ=義援金の受付に関すること:出納課☎052(954)6648  
義援金の配分に関すること:健康福祉総務課☎052(954)6257

## 東北復興支援インフォメーション

■東北復興支援特別企画 「棟方志功 祈りと旅」  
青森出身の版画家、棟方志功(1903～1975)の画業を「祈りと旅」をテーマに振り返ります。旅のスケッチをもとにした(奥海道棟方版画)のように故郷東北に題材とする数々の版画から、絵巻、書、陶芸や油彩画に至るまで、約300点を通して棟方志功の制作活動の全貌をご紹介します。  
▷会場=愛知県美術館(愛知芸術文化センター10階)(名古屋市区)  
▷会期=7月9日①～9月4日②  
▷休館日=毎週月曜日(但し7月18日②は開館)、7月19日②  
▷開館時間=10:00～18:00 金曜日12:00まで(入館は閉館30分前まで)  
▷観覧料=一般1,000(800)円、高大生700(500)円、中学生以下無料  
※( )内は前売及び20名以上の団体料金  
▷その他=本展に避難された被災者の方は、無料でご覧いただけます。また、ポストカードなどをチャリティーグッズとして販売し、その収益金を、復興支援として被災地に寄付させていただきます。  
▷ホームページ=<http://www.art.aec.pref.aichi.jp/>  
▷問合せ=愛知県美術館☎052(971)5511

■「みちのくの焼き物 東日本大震災被災地応援展」開催中!  
焼き物は、各地域・各時代における経済・政治・社会の影響を受けて生産され、流通・使用されてきた。そのような焼き物に刻まれた記録は、貴重な文化資源といえます。本展では東北地方の陶磁史を概観し、東北各地の文化について理解を深め、被災地応援の一助としようとするものです。ぜひ、多くの方にご来館いただき、東北復興にご支援いただきますようお願いします。  
▷会場=愛知県陶磁資料館 特別展示室(本館1階)

## 就職支援インフォメーション

■「ヤング・ジョブ・あいち」のご案内  
「ヤング・ジョブ・あいち」は、県と国が連携して運営している、学生と40歳未満の若年者の就職活動をワンストップで支援する施設です。  
この施設では、「自分にとってどのような仕事に向いているのか?」を知る事ができる職業適性診断をはじめ、求人検索や専門の相談員による職業相談・職業紹介、就職に対して不安を抱えている求職者のための心理カウンセリングやキャリアプランサングなどを実施しています。  
また、就職に役立つセミナーやミニ面接会を毎月開催するなど、若年者の就職活動を全面的に支援しています。  
○7月開催のセミナーのご案内(要予約、先着順)  
●就職活動基礎力UP講座  
7月5日①12時②19時③26日④  
●社会人のための面接速戦講座  
7月7日①14時②21日③28日④  
●学生のための就活講座  
7月8日①15日②20日③27日④

●貴方の適性と職業を考慮してみませんか 7月22日①  
●働くために今やること  
○自己採点に就く活動で納得した仕事に就こう→7月26日②  
●就職力アップセミナー  
7月26日②～27日③  
○合同企業説明会のご案内(予約不要、入退場自由)  
7月8日④  
●エム・タス合同企業説明会  
7月22日⑤  
●大学生等就職マッチングフェア  
7月25日⑥  
●ヤング・ジョブ・フェア2011  
9月9日⑦←現在参加企業を募集しています。  
※セミナーの内容、説明会の開催時間等の詳細は、ホームページをご確認ください。  
▷所在地=名古屋市中区栄四丁目1番1号(中ビビル2階)  
▷利用時間=9:30～18:00 月曜日～金曜日(祝日、年末年始を除く)  
▷ホームページ=<http://www.pref.aichi.jp/yjja/>  
▷問合せ=ヤング・ジョブ・あいち☎052(264)0665

～献血でわたしの元気 届けたい～ 7月は「愛の血液助け合い運動」月間です。

# あいち

愛知県の  
広報紙  
No.960  
毎週 1 日曜日  
掲載

県のテレビ番組(7月)  
東海 [SKE48のあいちテレビ] .....毎週土曜日..... <17:26～17:30>  
再放送 .....毎週日曜日..... < 5:55～ 6:00>  
中京 [クリック!あいち] .....毎週月曜日..... <21:54～22:00>  
再放送 .....毎週土曜日..... < 5:25～ 5:30>  
※テレビ番組:ラジオ番組の放送日時は、番組編成により変更になることがあります。

県のラジオ番組(7月)  
CBC [あいち県政リポート] 毎月第2・第4日曜日 <11:25～11:29>  
東海 [にんちには愛知県です!] 毎月第1・第3金曜日 <10:35～10:38>  
FM AICHI [AICHI SATURDAY TOPICS] 毎月第1・第3土曜日 < 8:18～ 8:19>  
ZFM-FM [AICHI SUNDAY TOPICS] 毎月第1・第3日曜日 < 7:20～ 7:25>  
・ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/> ・インターネット情報局 <http://www.doga.pref.aichi.jp/>  
・A!Netwebマガジン <http://www.merumaga.pref.aichi.jp/>  
愛知県広報広聴課 052(954)6170(ダイヤルイン) ☎460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1-2

## 「地震」から「命」を守る。そのために。



いつ発生してもおかしくない「東海地震」。そして、東南海・南海地震の三つが連動すると大きな被害が想定されます。自分の、そして家族の「命」を守るため、「地震」についてきちんと理解し、家族・まちぐるみで話し合うこと、そして、いますぐ備えることが必要です。

### 「揺れ」から命を守る。

◎地震を感じたら、まず身の安全確保!  
《家の中では》  
・転倒の恐れのある家具などから離れ、身の安全を確保しましょう。  
・玄関、窓など非常脱出口を確保しましょう。  
《街頭では》  
・カバンなどで頭を保護し、空き地や丈夫な建物の中などに避難しましょう。  
・ブロック塀や門柱、自動販売機、建設現場からは離れましょう。  
《テニスコート・スーパー・映画館・劇場・駅などでは》  
・カバンなどで頭を保護し、柱や壁際に身を寄せましょう。  
・商品棚や蛍光灯など転倒・落下の恐れのあるものから離れましょう。  
・係員の指示を聞き落ち着いて避難しましょう。

◎揺れが収まったら、すぐ火の始末。  
・ガスの元栓を閉め、出火防止をしましょう。  
・避難する場合はブレーカーを切りましょう。

◎避難は徒歩で、持ち物は最小限に。  
・安全で動きやすい服装を着用しましょう。  
(服は肌を露出しないよう長袖・長ズボン、靴は底が厚くはき慣れたもの、ヘルメットや軍手も用意しておく。)  
・荷物は最小限にして、背負うようにしましょう。  
・歩いて避難しましょう。  
・近所に声をかけ、障害者、お年寄り、子どもから目を離さず避難しましょう。  
・狭い路地や塀ぎわ、崖や川川は避けて避難しましょう。繁華街では看板やガラスの落下に注意しましょう。

◎正確な情報入手する。  
・テレビ、ラジオ、防災無線などから正確な情報入手し、冷静に行動しましょう。

### 「津波」から命を守る。

◎「沿岸部」では地震を感じたらすぐ避難!  
・津波の伝わる速さは時速数百キロになる場合もあり、津波が見えてから逃げても間に合いません。  
・津波警報や注意報が解除されるまで海岸付近には近づかないようにしましょう。

◎遠くではなく「より高い」場所へ逃げる。  
・逃げるときは、沿岸から遠い場所ではなく「より高い」場所を目指して避難しましょう。  
・津波のスピードが早く、避難が間に合わないときは、できるだけ高く頑丈な建物の上の階に逃げてください。

◎揺れは小さくても大津波が襲ってくることも。  
・震度(体で感じる揺れ方)とマグニチュード(地震の規模)は違います。油断しないで避難しましょう。

◎津波はくり返し襲ってくる。  
・第一波よりも第二波、第三波のほうが大きいこともあります。

## 日ごろから「地震」に備えよう。

◎自宅の耐震性を高めよう。  
・愛知県のホームページにある「防災学習システム」で東海・東南海地震発生時のご自宅の耐震性をチェックすることができます。  
(<http://quake-learning.pref.aichi.jp/>)  
・市町村(一部を除く)では木造住宅の無料耐震診断や耐震化補助を行っていますので、お住まいの市町村にご相談ください。

◎家具や家電製品を固定しよう。  
・家具の転倒などによるケガを防ぐとともに、安全な避難経路が確保できます。  
※地震のときの退避行動を紹介していますが、状況に応じ、最も人的被害が軽減すると判断される行動をとることが大切です。

◎ハザードマップで確認しよう。  
・地震が起きたら自分の住んでいる地域では、どのような危険が発生するのか、市町村のハザードマップなどで確認しておきましょう。

◎家族で避難場所や連絡方法を確認しよう。  
・市町村が指定する安全な避難場所等を確認し、家族が離れ離れになってしまった際の集合場所を決めておきましょう。  
・連絡方法として災害用伝言ダイヤル「171」の使い方を確認しましょう。

◎水・食料などを備蓄しよう。  
・水や食料(3日分程度)、貴重品(現金、通帳類)、懐中電灯、携帯ラジオなどをすぐに持ち出せるように準備しておきましょう。  
・家族の必要に応じて、メガネや補聴器、薬などの持ち出し品も確認しておきましょう。

この内容に関するご意見・お問合せは、防災危機管理課 ☎052(954)6191(ダイヤルイン)まで 「地震対策」に関する情報は、[愛知県 地震防災](#)

～非行の芽 はやめにつもう みな我が子～ 7月と8月は青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動の夏期強調期間です。